

被災地にコナラの苗

トヨタ
社員ら 家庭で育て植樹に

従業員らのボランティア活動を後押しして、トヨタ自動車のトヨタボランティアセンターは、東日本大震災の被災地の復興を支援する新たな取り組みを始めた。

社員らがドングリを実らせるコナラなどの苗を来年五月まで自宅で育て、宮城県岩沼市に送つて植樹事業に活用してもらう。国内外で植樹活動を

張るため、津波に耐える力が強いと話した。子どもたちは持参した牛乳パックなどに土を入れ、苗を丁寧に植え替えた。(諏訪慧)

茶
製造元
南山園

している長久手市のNPO法人「どんぐりモンゴリ」の協力を得た。どんぐりモンゴリは、がれきで造った岩沼市沿岸部の高台の植樹事業に苗を送り続けている。

二十七日は豊田市岩倉町の「トヨタの森」で苗の引き渡しがあり、どんぐりモンゴリの角和保明理事長が十七家族を前に活動の意義を



牛乳パックに苗を植え替える参加者たち=豊田市岩倉町のトヨタの森で